

# 特別支援教育

～通常学級の先生方が知っておきたい  
理解と支援のポイント～

2005.10.1 KAZU



---

---

---

---

---

---

---

---

# 特別支援教育とは？



これは覚えよう！



---

---

---

---

---

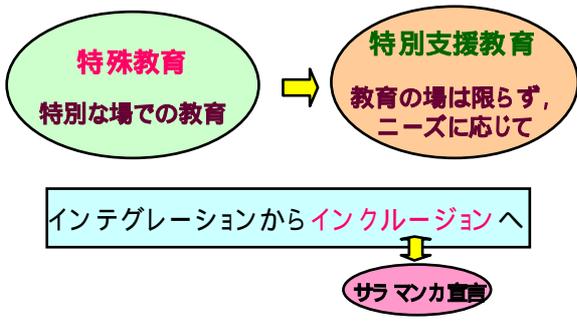
---

---

---



## 特殊教育から特別支援教育へ



---

---

---

---

---

---

---

---



### 6.3%という数字の意味



通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する全国実態調査(2002, 文部科学省)



知的な遅れはないが学習面や行動面で著しい困難を示す児童生徒が通常学級に6.3%在籍する

通常学級においても障害のある子どもに対する理解と支援が求められる時代

---

---

---

---

---

---

---

---

### 軽度発達障害とは？



これも絶対知っておかなくちゃ！



---

---

---

---

---

---

---

---

### 軽度発達障害とは何か



どういう子ども？

知的遅れがない  
IQ 70~75以上

中枢神経の機能不全により  
特異な困難を示す



上記の特徴をもつ発達障害の総称。LD・ADHD・高機能自閉症、アスペルガー障害など。

---

---

---

---

---

---

---

---

## LD (学習障害)とは?

聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する、の中で、特異な困難がある <教育的LD> disabilities = 困難さ

言語性LD: 言語理解、表出、読み、書きの困難  
非言語性LD: 空間、身体像、社会的知覚の困難

チェックポイント～スキップ、フォークダンス、縄跳びの困難

読み・書き・計算の障害 <医学的LD> disorders = 機能不全

ディスレキシア

---

---

---

---

---

---

---

---

## ADHD (注意欠陥 / 多動性障害)とは?

「不注意」、「多動性」、「衝動性」の三つの問題が見られる、セルフコントロールの発達障害

前頭葉の活動が不活発  
(実行機能の障害)

教室で、特に  
気になる子ども

活性化作用のある刺激剤  
リタリン(メチルフェニデート)



---

---

---

---

---

---

---

---

## 高機能自閉症とは?



知的な遅れを伴わない自閉症

参考

広汎性発達障害(PDD)

- ・自閉性障害
- ・レット障害
- ・小児期崩壊性障害
- ・アスペルガー障害
- ・特定不能PDD

社会性、コミュニケーション、想像力

三つ組の障害

自閉症スペクトラム

---

---

---

---

---

---

---

---

## ADHDと高機能自閉症の比較

### ADHD

- ・わかっていても衝動的に動いてしまう
- ・落ち着いていれば、相手の気持ちを察することができる
- ・人からかかわられることを好む

### 高機能自閉症

- ・いい悪いに気づかず、興味のまま動いてしまう
- ・相手の気持ちを察する力が弱い
- ・人とのかかわりを好まない

---

---

---

---

---

---

---

---

## ADHDとLDの比較

### ADHD

- ・不注意、多動性、衝動性の3つについて、行動上のアンバランス

### LD

- ・読みや書き、計算など、学習上のアンバランス
- ・教育定義は、さらに、話す、聞く、推論するのアンバランスが加わる

以前は、**MBD(微細脳損傷)**として、同一概念

---

---

---

---

---

---

---

---

## 高機能自閉症とLDの比較

### 高機能自閉症

- ・文章の意味理解が困難
- ・絵本のページの一つ一つの絵は理解できても、全体として、そのページが何を意味するかの理解が困難

### LD

- ・例えば、文字の読みとりそのものに障害があって(読字障害)も、読んでもらえば、意味理解はできる(狭義のLD、医学的LD、言語性LD)

「**非言語性LD**」概念では、視空間認知障害、不器用さ、運動能力障害、社会性障害、コミュニケーション障害まで含む

---

---

---

---

---

---

---

---

## アスペルガー障害と高機能自閉症の比較

### アスペルガー障害

- ・幼児期に明らかな言葉の遅れがない
- ・言語性Q > 動作性IQ
- ・男女比2:1

### 高機能自閉症

- ・幼児期に明らかな言葉の遅れがある(始語が2歳以降, 2語文が3歳以降)
- ・言語性Q < 動作性IQ
- ・男女比4:1

知的遅れを伴わない「高機能広汎性発達障害」であり、社会性障害、コミュニケーション障害、想像力障害がある

---

---

---

---

---

---

---

---

## 支援の在り方は？



何が大切かな？

---

---

---

---

---

---

---

---

## 子どもを理解する

うまく指導してもらえなくてもいい。  
でも、子どものことは理解してほしい  
(ある保護者の声)

教育を行う者が、教育を行う子どもについて  
無知のまま教壇に立つことは、子どもに失礼  
極まりないことである(2003・杉山)

自閉症者の自伝がそのヒントになる

テンブル・グランディン、ドナ・ウィリアムズ

---

---

---

---

---

---

---

---

## LDへの基本対応



以下の配慮で3～5割の子どもは改善

- ・教材を最低2年分、やさしくしてみる
- ・とにかく繰り返す
- ・説明等、ゆっくり話すようにする

残りの7～5割の子どもの指導には  
専門家の助言が必要

検査により聴覚系、視覚系の困難を把握し、  
指導法、教材等を工夫する（小池、2003）

---

---

---

---

---

---

---

---

## ADHDへの基本対応



脳の実行機能に弱さがあるため、自らの動機付けが困難  
故に、報酬（ご褒美）で行動をコントロールすることが基本

改善目標を一つ決め、達成したら  
シールやスタンプの報酬等

### 主な配慮事項

- ・注意や叱責の何倍もの賞讃を
- ・できていること、できそうなことを賞讃する
- ・賞讃、叱責は直後に明確に
- ・指示は必ず御唱させる
- ・クールダウンの場を設ける 等

---

---

---

---

---

---

---

---

## 高機能自閉症への基本対応



### 学習面

- ・視覚情報を多く（カード、手順表等）
- ・情報は一度に一つ
- ・構造化された環境で（室内環境等）
- ・予告を頻繁にして、見通しをもたせる

### 行動面

- ・指示は一つずつ順番に
- ・具体的な言葉かけを（シークは通じにくい）
- ・かかわりのスキルを具体的に教える
- ・不自然なことを言ったときには指摘する

---

---

---

---

---

---

---

---

## 一人で抱え込まない、深入りしない

通常学級担任としての留意点

40人の子どもと大きな道を歩く

廊下にそれる子どももいる

立ち止まるが、廊下には入らない

いつでも戻れる居場所の確保

サポート  
体制づくり



---

---

---

---

---

---

---

---



## 「居場所」づくり

ある担任の声；「周りの子どもが育ったら、  
障害のある子どもも育った！」

- ふれあい(リレーション)があるかどうか
- 規律(ルール)があるかどうか

人は人の中で人になる

- かかわる大人は、「優しい」だけでは ... ..
- かかわる大人は、「厳しい」だけでは ... ..

大人の優しさと厳しさで、子どもは「人」になる

---

---

---

---

---

---

---

---

## 自尊感情を高め、二次障害を防ぐ

日常的な注意、叱責は、子どもたちの  
セルフエスティーム(自尊感情)を大きく下げる

どうせ、私は何を  
やってもダメなんだ



そんなことは  
ないよ



かかわる教師の  
腕の見せどころ

---

---

---

---

---

---

---

---

## 効果的なカウンセリング理論・技法



勇気づけ

アイメッセージ

ブリーフ・セラピー

ソーシャルスキル・トレーニング

構成的グループ・エンカウンター

---

---

---

---

---

---

---

---

## 「勇気づけ」の三つの言葉



ありがとう

うれしい

助かった

教室でどれくらい使われていますか？



---

---

---

---

---

---

---

---

## アイメッセージとユーメッセージ



自分が問題をもったら

**アイメッセージ**

「私」を主語にして、自分自身がどう感じているかを語る



**ユーメッセージ**

「あなた」を文脈のどこかに入れて語る

命令

注意

訓戒

説教

---

---

---

---

---

---

---

---

### 効果的なアイメッセージの3要素

行動

子どもの行動を非難がましくなく  
描写する

影響

子どもの行動が自分に与える  
影響を伝える

感情

その影響が自分に抱かせる  
感情を伝える

---

---

---

---

---

---

---

---

### ブリーフ・セラピー (短期療法)

原因の探究



解決の構築

ソリューション・フォーカスト

もうまくいっているなら、変えようとするな  
もうまくいっていないのであれば、  
違うことをせよ

リソース探し

例外探し

---

---

---

---

---

---

---

---

### ソーシャルスキル・トレーニング

してみせて 言って聞かせて させてみて  
ほめてやらねば 人は動かじ

インストラクション

モデリング

リハーサル

フィードバック

貸して

いいよ

ありがとう



---

---

---

---

---

---

---

---

## 具体的な支援とは？



支援の実際を知りたいです！



---

---

---

---

---

---

---

---

## LDへの支援 1



読みの困難があった事例

- ・教科書を120%に拡大する
- ・文章の文節ごとに区切りをつける
- ・本人に文節ごとに で囲ませる

ゆっくり、正しく読めるようになった

---

---

---

---

---

---

---

---

## LDへの支援 2



計算の困難があった事例

- ・課題レベルを2学年程度下げる
- ・プリントには「年生の基礎チェック」と書いて、プライドに配慮する

時間いっぱい課題に向かい、計算力がついた

---

---

---

---

---

---

---

---

## ADHDへの支援

脳の実行機能に弱さがあるため、自らの動機付けが困難  
故に、報酬(ご褒美)で行動をコントロールすることが基本

改善目標の一つ決め、達成したら  
シールやスタンプの報酬等

「パソコン」とい  
うリソースで別人  
のように変わった  
A君

### 主な配慮事項

- ・注意や叱責の何倍もの賞讃を
  - ・できていること、できそうなことを賞讃する
  - ・賞讃、叱責は直後に明確に
  - ・指示は必ず御唱させる
  - ・クールダウンの場を設ける
- 等




---

---

---

---

---

---

---

---

## やくそく 名前

- ・朝の歌をみんなと一緒に歌います  
(シール1枚)
  - ・集会に本をもたずに参加します  
(シール2枚)
  - ・教室でみんなと一緒に勉強します  
(シール2枚)
  - ・放送室で先生と一緒に勉強します  
(シール1枚)
- 等

先生と一緒に決  
めたルールだよ



\*シールが5枚たまったら、パソコンの  
15分チケットをもらえ

---

---

---

---

---

---

---

---

## がんばり表

	月	火	水	木	金
1	☐	☐	☐	☐	☐
2	☐	☐	☐	☐	☐
3	☐	☐	☐	☐	☐
4	☐	☐	☐	☐	☐
5	☐	☐	☐	☐	☐
6	☐	☐	☐	☐	☐

シールを  
ゲットするぞ!




---

---

---

---

---

---

---

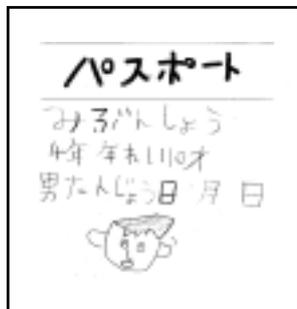
---

## A君の自作カード&パスポート



保健室に行きます

職員室に行きます




---

---

---

---

---

---

---

---

## 高機能自閉症への支援



### 学習面

- ・視覚情報を多く(カード, 手順表等)
- ・情報は一度に一つ
- ・構造化された環境で(室内環境等)
- ・予告を頻繁にして, 見通しをもたせる

### 行動面

- ・指示は一つずつ順番に
- ・具体的な言葉かけを(シグナルは通じにくい)
- ・かわりのスキルを具体的に教える
- ・不自然なことを言ったときには指摘する  
してはダメ しましょう

---

---

---

---

---

---

---

---

## 「問題」が改善されたB君への支援例



授業中、無意識にカタカタと音を出してしまう

手だて



1. 「音が鳴ると周りはどういう影響を受けるか」、事前に一緒に考え、「影響」に気付くことができるようにする
2. 授業中は静かに話を聴く「ルール」があることを事前に伝え、守られないときには注意することを伝える
3. 注意はできるだけ非言語で伝える

---

---

---

---

---

---

---

---

## 気になる子どもへの支援

子どもが「**幸せな学校生活**」を送れるように

1. 障害の**理解**
2. 二次的障害の**予防**
3. 対応の**試行**

専門家の応援を  
もらいましょう！



---

---

---

---

---

---

---

---

## <実践> 誰でもできる SSTを活用した授業



ジャンケンは  
楽しかったよ！



---

---

---

---

---

---

---

---